

特定非営利活動法人
シルバーアドバイザー・ネット大阪

第 9 期 通 常 総 会
議 案 書

開催日時 平成27年6月6日(土)午後1時30分～
開催場所 アネックスパル法円坂 3階 多目的ルーム1

通常総会議事次第

1 開会

2 挨拶 1) 理事長挨拶

2) 来賓挨拶

3 議長選任

4 議長就任挨拶と議事進行

1) 会議成立要件の確認

2) 議事録署名人の選任

3) 議案審議

第1号議案 第9期事業報告承認の件

第2号議案 第9期活動計算書報告と監査報告承認の件

第3号議案 役員選任の件

第4号議案 定款変更の件

第5号議案 第10期事業計画（案）の件

第6号議案 第10期活動計算書予算（案）の件

5 議長解任

6 閉会

第1号議案 第9期事業報告

I. 第9期事業総括報告

昨年度の国内の大きな動きとしては、衆議院解散による総選挙が行われ、自民、公明両党が議席数の3分の2を占め、第3次安倍内閣が発足し、より積極的なアベノミクス経済政策推進が行なわれ、大企業が「円安」効果を背景に大幅な増益をもたらす軒並み「賃上げ」に踏み切りました。中小企業も一部追随しましたが、大企業との格差はますます拡大しようとしています。

一方、高齢者社会は更に進み高齢化率が26%を超えました。高齢者が高齢者を支える時代の要請が切実に迫ってきています。

このような情勢にあつて、私たち「シルバーアドバイザー・ネット大阪」(以下、SA ネット大阪と略します)は、各事業部とも従来からの活動に加え、企画部による「認知症予防講座」(講演と脳トレ体操)を実施、予想以上の参加者を得て、充実した活動の1年だったと思います。詳細については別途ご報告します。

ただ、収支的には全般に資産を増やすことは出来ず、正味資産は前年度と横ばいに終わりました。

また、「介護福祉事業部」の活動は年間を通じて休止状態となり、現在、活動再開のめどは立っておりません。

「伝承おもちゃづくり事業部」以下の各事業部の活動実績についてはそれぞれの事業部より報告申し上げます。

その他の主な活動について申し上げます。

(1) 渉外ネットワーク活動

私たち「SA ネット大阪」と最も緊密にネットワークを組んでいます「NPO 法人大阪府高齢者大学校」(以下、高大と略します)、NPO 法人大阪アクティブシニア協会等の事業活動に係わり、各種講座、イベント事業(出前サポートバンク、アクティブシニアフェスタ等)に参加、協力しました。

また、校友会(同窓会連合体組織)のメンバーとして会員増強活動に参加しました。

(2) 広報活動

広報誌「SA ネット大阪ニュース」は、第18号～第20号と3回発行、事業報告に加えイベント計画の紹介、活動のPRに努めました。

ホームページも随時更新、各事業部の活動をタイムリーに紹介。併せて内容の充実を図りました。

また、前述の「校友会」発行のニュースレターでも活動内容を紹介され効果的でした。

(3) 理事会

定例理事会を毎月第4月曜日(年12回開催)に開催。各事業部の事業活動実績、今後の事業計画、広報活動、各連携団体との協働活動等について討議しました。

II. 事業部活動報告

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部活動報告

従来より活動している幼児、児童対象の「おもちゃづくり出前講座」に加え、一昨年より開講の「NPO 法人大阪区民カレッジ」（以下大阪区民カレッジと略します）受講生を対象として、終了後の地域社会参加活動をするためのキッカケづくりとして「おもちゃづくり指導者養成講座」に参加しました。熱心に受講した結果が、大阪市西区小学校での授業での指導に結び付き成果となりました。

また、大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を得て、障がい者対象の「おもちゃづくり出前講座」を実施、予想以上の参加者があり、交流交歓ができました。

前年度から「SA 連協」主催の SA 修了者対象の「おもちゃづくり教室」（中級）を引き継ぎ隔月年 6 回開催、新たに開発したもの、或いは既存のものから安価・量産・少工程で出来るものなど、独自に工夫したものを提供・指導を図りました。

教材読本として好評の「伝承おもちゃづくり読本」は、「大阪区民カレッジ」の講座用一括購入もあり大量販売できました。

年間イベント参加回数	12 回	延 15 回、	SA 参加者	延 95 名
来場者	2,448 名（内障がい者	190 名）、	教材読本頒布	138 冊

2. おもしろ算数教室事業部活動報告

① 出前教室・・・高齢者向け 3 回 小学生向け 3 回 実施

- ・高齢者向けに、継続的に実施をしているところでは、皆さんが、楽しんでられる様子が、参加人数の増加にあらわれています。また「このような楽しい行事を今まで知らなかって損をした」等と仰って、皆さん「いつまでも心身共に元気で過ごしたい」と、参加することを楽しみにしておられます。
- ・小学生向けの行事では、会費を払っての参加に、十分見合った取り組みが出来ているか、いつもより身の引き締まる思いをしての活動となります。しかし、時間いっぱいパズルに取り組む子どもの姿に、感動しています。

② パズル体験・・・6 回実施

- ・四天王寺の古本市では、親にもパズルに取り組んでいただきましたが、パズルを解き終わると、素敵な笑顔をなさいます。
- ・「1 年前は、要介護 5 だった。パズルを解けるだろうか心配」と、仰っていた方が、慣れてくると、難しいパズルにも挑戦し、楽しめました。

③ 養成講座を実施

- ・体験会・初級講座・中級講座・上級講座・サポーター養成講座・サポーター認定会と、実施しました。
- ・新たにサポーターが 8 名誕生しました。

④ サポーター会・・・春と秋に実施

- ・新パズルの紹介や、情報交換により、サポーター間の交流を深めました。

3. 国際交流事業部活動報告

- ①毎月第4月曜日午前に国際交流事業部運営委員会を開催し、主たる活動の国際交流サロンや国際交流に関する新しい企画・運営等について審議しました。
- ②国際交流サロンを3回開催しました。
- (1) 第28回は、大阪大学大学院のドイツ人留学生で同時通訳を学んでおられるアンニカ ハンゼンさんを講師に迎えて、6月29日(日)に豊中で開催しました。
また、第2部では9名の留学生及び講師を交えて交流会も実施しました。
テーマ名；「言葉の架け橋を目指して」
参加者数；78名、内外国人留学生9名
- (2) 第29回は、枚方市で外国人初の自治会会長をされているアメリカ人サム テケンブロックさんを講師に迎えて、9月28日(日)に豊中で開催しました。
第2部では、参加者と4名の外国人留学生・講師のサムさんとの交流会も実施しました。
テーマ名；「繋がり笑顔の挨拶から」
参加者数；35名、内外国人留学生4名
- (3) 第30回は、日本で仕事をされているフランス人ザビエル アルエットさんを講師に迎えて、11月8日(土)に新大阪で開催しました。
また、第2部で4名の留学生・講師のザビエルさんを交えた交流会も実施しました。
テーマ名；「フランスの魅力を語る」
参加者数；50名、内外国人留学生4名

4. 企画部事業活動報告

前期の重点事業として企画しました「認知症予防講座」全4回を実施、平成26年9月13日に第1回、以下平成27年2月7日の第4回まで無事終えることができました。

内容が高齢者に関心のある「認知症」をテーマにしたこと、内容が講演と脳トレ体操を組み合わせた斬新な企画の講座で、講師の選定も地元の精神神経科医師(第1回)、認知症看護認定看護師(第2回～第4回)、大阪府レクリエーション協会公認講師(脳トレ体操、全4回)と、多彩で身近に感じる講師であったことも評価されたようです。

第1回は大阪市教育会館、以下茨木市福祉文化会館、吹田市千里市民センター、豊中市立千里公民館と各地域の中心部の近くを会場にしました。

毎回定員50名で募集し、4会場合計233名(内訳：第1回55名、第2回54名、第3回57名、第4回67名)の参加者があり、毎会場毎にアンケートを取りましたが、毎回とも回収率が70～80%と高く、しかも「大変よかった」「よかった」の感想が圧倒的に多く、主催者として満足な結果で喜んでいきます。

今回は（公財）麒麟福祉財団から助成金 20 万円の交付を得ましたが、チラシの刷り直し等予想以上の費用の発生があり収支的には持ち出しになりましたが、それ以上の成果を得られたのではないかと考えています。

次年度は「麒麟福祉財団」からの助成は受けられませんが、要望がある大阪府南部での開催を検討したいと考えています。

5. 広報部事業活動報告

(1) 広報紙の発行

広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年3回（7月、11月、3月）の発行をして、活動状況の発信をしました。

高大校友会のPRコーナーのラックにも配架して、SA・ネットのPRに努めました。

(2) ホームページの推進

SA・ネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」「認知症予防講座」「おもしろ算数教室」等と関連団体の「アクティブシニアフェスタ」や会員の活動する「千里英語サロン」「おしゃべり会」等の掲載による更新を図り、そのPR効果も徐々に上がってきました。

第2号議案 第9期活動計算書報告と監査報告
別紙

第3号議案 役員選任の件 (案)

現在の役員		新役員候補 (案)	
理事 (顧問)	永田 得祐	理事 (顧問)	永田 得祐
理事 (理事長)	三田 進一	(顧問)	奥谷 英夫 (新任)
理事 (副理事長)	西川 龍夫	理事 (理事長)	武内 信憲 (新任)
理事 (副理事長)	武内 信憲	理事 (副理事長)	西川 龍夫
理事 (副理事長)	奥谷 英夫	理事 (副理事長)	二葉 登代子 (新任)
理事	大川 正彦	理事	三田 進一 (新任)
理事	古矢 弘道	理事	大川 正彦
理事	田中 曉子	理事	古矢 弘道
理事	二葉 登代子	理事	島田 道子
理事	島田 道子	理事	片山 亜子 (新任)
理事	服部 早樹子	監事	笹原 義正 (新任)
監事	松本 勉		

退任 理事 田中 曉子 監事 松本 勉 理事 服部 早樹子 (死亡)

第4号議案 定款変更の件

	変更後	変更前
定款の変更内容	第2条 この法人は、主たる事務所を大阪府大阪市に置く	第2条 この法人は、主たる事務所を大阪府茨木市に置く

第5号議案 第10期事業計画 (案)

I 第10期総括事業方針

(1) 自主事業の3事業部は前期に引き続きそれぞれの事業計画に基づき活発な活動を続けますが、「介護福祉事業部」については、当面事業受諾の見込みが立たず活動は休止状態にあります。が、(公財)大阪府看護協会等関係先と接触を保ちながら打開の途を探っていきます。

(2) 前期府下北摂地域を中心に開催した「認知症予防講座」を府下南部地域で開催するについては、要望もありますがよく検討を重ねていきたいと思えます。

(3) 広報活動の強化

HP と広報誌「SA・ネット大阪ニュース」を通じて、配布範囲を拡げ、より多くの人に周知してもらおうべく、内容の充実を図ります。

(4) 今回、登記上本店を「大阪市」に移し、実質事務連絡事務所を「NPO 法人大阪府高齢者大学校(以下、高大と略します)」内にすることを機会に、高大グループ【高大、NPO 法人大阪区民カレッジ(以下、大阪区民カレッジと略します)、NPO 法人大阪アクティブシニア協会(以下、大阪アクティブシニア協会と略します)】との連携を従来以上に緊密にし、より発展的な施策を講じていきたいと思ひます。

II 事業部活動方針

事業の実施に関する事項

1. 介護福祉事業部活動方針

前述のように、現在活動は休止状態にあり、また委託事業そのものの実現の可能性は薄いですが、関係先との接触を保ちながら実現化の途を探ります。

2. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部活動方針

「おもちゃづくり工作教室」を通じて地域指導者の裾野の広がりをめざし、併せてレベルアップを図り、イベント参加を通じてわが国の「伝承手づくりおもちゃ」を子どもたちや、その家族たちと共に楽しみながら作って行きます。

前期、重点的に活動した障がい者との交流も継続的に行い「自分でつくり、遊ぶ」喜びを味わい、社会参加のキッカケづくりに役立てればと考えています。

高大グループとの連携も視野に入れて、活動範囲を拡げて行くことで指導者との交流も深めていくことも重要な課題の一つです。

活動原資の確保のため、助成金情報の活用も重要なテーマです。

3. おもしろ算数教室事業部活動方針

この教室の今年度の活動としては、

- ①出前教室の機会を増やすことが第一の目標です。継続的に長期間実施しているところでは、長らく参加している方が、新しいパズルに対してもどんどん解き進んでいく様子に比べ、最近参加し始めた方が、慣れないでなかなか解き進まない姿を見ます。対応をいろいろ工夫しています。
- ②昨年実施した一連の講座を、今年度は八尾市の生涯学習センターと共催で、実施する運びとなりました。これを、次につなげたいと思ひます。
- ③パズル体験の機会を増やすことと、テキストの販売を進めることにより、算数パズルを解く楽しさを、多くの方々に知っていただきたいと考えています。そこで、「おもしろ算数教室」とはどのようなものかを、知っていただくために、体験会を重要な機会と位置付けて実施します。

④サポーター会を、より充実したものにするために、次の様に取り組んでいきます。次の目標をたてて、楽しく活動できる会にしていきます。

- (1) 新しいパズルを解き、パズルの点検をする。
- (2) サポーター各々が、おもしろ算数パズル塾を実施できる機会を探る。
- (3) 大きい収入源である算数パズルのテキストの販売に力を注ぎます。

4. 国際交流事業部活動方針

①新メンバーも加えて国際交流事業部運営委員会を毎月開催し、より内容の深い企画立案と実践を目指した会議体にして行きます。

②国際交流サロンを3回開催する予定です。

- (1) 第31回は、6月14日（日）にイタリア人女性コルフィアスアレッサンドラさんを講師に迎えて大阪日本語教育センターで開催します。
- (2) 第32回は、秋に英語、フランス語、中国語、ハングルや国際文化交流を学んでいる方々を対象に、多くの外国人を交えて文化交流イベントを開催する予定です。
- (3) 第33回は、平成28年2月前後に開催予定です。内容については現在検討中です。

③他の組織との交流活動を深め、国際交流に関する協働化を目指します。

- (1) 他の国際交流団体等との交流を深め、協働活動事案を検証します。
- (2) 大阪府高齢者大学校「国際文化交流科」との連携も深め、SA認定取得のサポートをしながら国際交流という切り口でお互いに協働して行きます。

5. 広報部活動方針

(1) 広報紙の継続発行

広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年3回（7月、11月、3月）の発行を目指し、継続して充実した内容を図り発信します。

高大校友会のPRコーナーのラックにも継続した配架と増刷をして、SA・ネットのPRに努めます。

また、広報紙のカラー印刷化もコストを勘案して検討します。

(2) ホームページの推進

SA・ネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」「おもしろ算数教室」等と関連団体の「高大」「高大校友会」「大阪アクティブシニア協会」や会員の主催する「千里英語サロン」「おしゃべり会」「会員活動」等の情報も随時掲載して更新を図ります。